



2019年3月11日

各 位

会 社 名 株式会社バイク王 & カンパニー
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 石川 秋彦
(コード番号 3377 東証二部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 小宮 謙一
(TEL. 03-6803-8855)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会のより一層の機能を向上させることを目的として、取締役会の実行性に関する分析・評価を実施しましたので、その結果の概要をお知らせします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、全ての取締役に対して、下記「2. 評価項目」の四つの大項目に関する無記名のアンケートを実施しました。回答は原則として4段階での評価としかつ自由記入欄を設け問題点の要因分析や建設的な意見を得るようにしました。アンケートは取締役全員が回答し、回答結果を任意の委員会である諮問委員会が分析および評価を行い、取締役会へ課題について答申を行いました。なお、諮問委員会の構成員は、過半数を社外取締役としております。

取締役会では、アンケート結果の集計および諮問委員会からの答申に基づき、今後の対応について協議いたしました。

2. 評価項目

- ① 取締役会の構成
- ② 取締役会の運営
- ③ 取締役会の議題内容
- ④ 取締役会を支える体制

3. 分析・評価結果

前回の実効性評価において課題と認識した、議案資料のさらなる早期配布については取締役会開催の二日前までに配布が行われるようになったこと、重要な議案の一部については継続審議事項として継続的な審議が行なわれるようになったこと、および取締役への権限委譲については各会議体の見直し等により権限委譲が行われたことなどから、一定の改善がされたと評価しました。

一方で、取締役会の構成員の多様性確保、代表取締役の後継者育成計画に関する取締役会の主体的関与、経営陣幹部の選任・解任における公正かつ透明性の高い手続きの運用面、および代表取締役の選任・解任における客観性、透明性のある手続きの運用面に課題があると評価しました。

4. 今後の対応

上記の分析・評価結果を踏まえ、諮問委員会は取締役会へ答申事項として、代表取締役の後継者育成に取り組んだうえで取締役会が状況を確認すること、昨年整備された代表取締役および取締役の選任手続きについて客観性、透明性、適時性のある手続きとして確立すること、および取締役会の多様性の確保について当社企業価値の向上の観点から議論を深化することを答申しました。取締役会は当該答申について継続的に取り組み、取締役会の実効性を高めることによって、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

以 上